

大蔵 隆文 地域救急医療学 新教授インタビュー

～心・腎疾患の研究と啓発を続けながら、地域の格差是正に取り組む～

近年、腎臓病の悪化対策が注目されています。私が委員長を務める愛媛慢性腎臓病対策協議会も、腎臓の大切さと、腎疾患の早期発見・治療への取り組みについて、啓発活動を行っています。私は循環器科医を目指し、大学で臨床及び研究を始めました。研修医時代から腎臓疾患に携わることも多く、腎臓についても臨床と研究を積み、現在は、専門である高血圧について心臓と腎臓の両方の観点から考える診療や研究を行っています。

地域救急医療学講座は、地方の医師不足と地域間の格差を是正するために開設され、私も週3回、市立八幡浜総合病院で診療を行っています。市立八幡浜総合病院では、通常の診療に加え、常勤医師との意見交換、循環器を中心とした救急医療を行っています。本講座や市立八幡浜総合病院の地域医療への取り組みの結果、市立八幡浜総合病院の医師数が徐々にではありますが、増加していることは嬉しいことです。さらに、研修医の先生方が市立八幡浜総合病院で研修を行い、将来同病院の常勤医として活躍されることを期待しています。また、社会活動として、高齢者の多い八幡浜地区で、地域の保健師さん等と協力し、救急搬送に至らないような予防医療の仕組みづくりができればと考えています。



インタビューに答える大蔵教授